

# 報告案件（４）地方版図柄入りナンバープレート寄付金活用に関する協議会の機能付加について

## 1 地方版図柄入りナンバープレートとは

国が、“走る広告塔”としてのナンバープレートの機能に着目し、地域の風景や観光資源を図柄にした地方版図柄入りナンバープレートを交付している。各自治体も積極的に普及促進活動を行い、予約確定件数の約8割がカラー版である。

### (1) 導入時期

平成30年10月1日（41地域導入）

### (2) デザイン及び申請件数

平成29年12月にデザイン4案から市民等による投票を行い、下図のデザインに決定。フルカラーデザインとモノトーンデザインが選べるが、寄付金はフルカラーのみ受け付ける。



※登録車996件 内寄付あり802件  
(2019年12月末日現在)

### (3) 寄付金

フルカラーの図柄入りナンバープレートには、料金の他に原則1,000円以上の寄付金を受け付けており、交通改善、観光振興などに資する取組に活用される予定。

### (4) その他のナンバープレートについて

- ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート（交付開始：平成29年4月～）  
日本初の図柄入りナンバープレートであり、予約確定件数は交付開始後の約2年間で25万件となった。全国自動車保有台数のうち、当ナンバープレート予約確定件数は0.31%で、その内寄付ありは全体の2.5%である。
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート  
(交付開始：平成29年10月～)  
図柄入りナンバープレートの第2弾として交付が開始された当ナンバープレートの予約確定件数は、交付開始後の約1年半で82万件となった。全国自動車保有台数のうち、予約確定件数は1.04%であり、その内寄付金ありは17.7%にとどまった。

## 2 寄付金活用方法の検討・配分フロー

下表の「協議会」機能を公共交通会議に付与し、寄付金を活用した事業、交付申請者を検討し特定する場としたい。

